

2023年7月25日

報道機関 各位

メタバースを舞台に高校生と大学生が学び、現実世界でも青雲荘(雲仙市)で合宿 「大学生とアントレプレナーシップを学ぼう」の実施について

長崎大学研究開発推進機構 FFG アントレプレナーシップセンター(※1)は、学生や社会人を対象にアントレプレナーシップいわゆる「起業家(企業家)精神」を学ぶ講義を実施しています。

今年度から、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)による「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」の採択を受けたオール九州・沖縄圏一体でアジアとつながるスタートアップ・エコシステム「PARKS」の協力を得て、アントレプレナーシップをテーマとして、高校生が大学生と共に現状直面している課題を描き出し、その状況を打開する策を自ら発案、検証するプログラム「大学生とアントレプレナーシップを学ぼう」を開始しました。

「大学生とアントレプレナーシップを学ぼう」ではメタバースを舞台に、大学で学ぶ学生や、長崎の起業家との交流を通じて自己効力感を高めるとともに、自分自身のキャリアにおいて「アントレプレナーシップ」を身につける意義と重要性を学ぶことを目指しています。

これまでの4回の講義を行い、アントレプレナーシップの重要性やアイデアの出し方について学習しました。今後、この活動は雲仙でのハッカソン(※2)などを通して自らのアイデアに基づく商品の設計、実証を行う予定です。なお、取材を申し込みの際は、事前に下記問い合わせ先までご連絡ください。

【大学生とアントレプレナーシップを学ぼう：ハッカソン開催日】

日時：7月27日(木)18時～7月28日(金)13時

会場：雲仙温泉 青雲荘(長崎県雲仙市小浜町雲仙 500-1)

内容：①アントレプレナーシップやプロジェクトマネジメントに関するグループワーク
②「本屋さんで買い物をしたくなるグッズやサービス」をテーマにした商品開発

参加者：長崎大学生 メンター 2名

長崎大学アントレプレナーシップセンター大学職員 3名

創成館高等学校、長崎南山高等学校、純心女子高等学校の高校生 17名

(※1) FFG アントレプレナーシップセンターは、2019年10月、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ、2023年4月からは、株式会社十八親和銀行の寄附講座として、長崎大学開発推進機構内に開設され、次世代のアントレプレナーの育成を目指して、学部生・院生向け教育プログラム、社会人向け履修証明プログラム、研究者向けインキュベーションプログラムを提供しています。

(※2) ハック(hack)とマラソン(marathon)を組み合わせた米IT業界発祥の造語。特定のテーマに対してプログラマーや設計者などソフトウェア開発の関係者がチームを組み、一定期間集中的に開発や考案を行い、その成果を競うイベント。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学 FFG アントレプレナーシップセンター

担当：西村・田川・水流 TEL：095-800-4121 Email：ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

[タブレットの場合]下の丸いボタンをタップして上下左右にスワイプすることで移動することができます。他のアバターに近づくともZoomのように会話をすることが可能です。

右下の音のボタンを押すとマイクのミュート設定やカメラのオンオフを変更することが可能です。

左側の「フロア」というボタンを押すと別の階に移動することができます。退出する際は左下の「退出」ボタンを押しましょう。

[PCの場合]矢印キーを押すことで移動することができます。他のアバターに近づくともZoomのように会話をすることが可能です。

下側のボタンを押すとマイクのミュート設定やカメラのオンオフを変更することが可能です。

左側の「フロア」というボタンを押すと別の階に移動することができます。退出する際は左下の「退出」ボタンを押しましょう。

コンピテンス型グループワーク

「アントレプレナーシップ」という言葉には様々な解釈があります。下の2つをチームで調べて意見をまとめましょう

- ・「アントレプレナーシップ」の意味
- ・アントレプレナーシップが身につく教育の実例

着席中 離席中

ミュート ビデオ開始 画面共有 そのほか

手を挙げる

メタバース上でアントレプレナーシップについてグループワークを行っている様子